

## 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

 コード番号 6151 URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR担当 (氏名) 西田 豊

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日

配当支払開始予定日

平成30年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,567	4.9	2,908	6.3	2,980	7.3	2,131	9.5
30年3月期第2四半期	13,885	6.0	2,736	12.7	2,778	13.7	1,947	15.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,801百万円 (16.3%) 30年3月期第2四半期 2,152百万円 (360.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	100.32	
30年3月期第2四半期	91.64	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	61,786	53,737	87.0	2,528.77
30年3月期	61,821	52,807	85.4	2,484.97

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 53,730百万円 30年3月期 52,800百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		30.00		41.00	71.00
31年3月期		34.50			
31年3月期(予想)				34.50	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,700	1.7	5,170	5.3	5,280	3.9	3,650	2.2	171.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	21,803,295 株	30年3月期	21,803,295 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	555,613 株	30年3月期	555,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	21,247,719 株	30年3月期2Q	21,247,824 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、半導体や自動車関連製品の生産増加に加え、合理化や省力化の需要を背景とした設備投資が堅調でした。しかしながら、日銀が平成30年10月1日に発表した9月の短期経済観測調査では、景気の先行きに懸念が出てきていることが示されています。

世界経済を見ると、米国による自動車関税の引き上げ、米中の貿易摩擦による輸出や投資が落ち込むリスクがあり先行きは楽観視できません。

このような経営環境の中で、当社グループは、国内外とも前年度に引き続き需要は堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間における売上高は145億67百万円となり、前第2四半期連結累計期間138億85百万円と比較すると、4.9%の増収となりました。利益面では、営業利益は29億8百万円となり、同27億36百万円と比較すると6.3%の増益、経常利益は29億80百万円となり、同27億78百万円と比較すると7.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億31百万円となり、同19億47百万円と比較すると9.5%の増益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内の需要が好調だったため、売上高は65億33百万円（前第2四半期連結累計期間比7.5%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加によってセグメント利益は18億60百万円（同13.8%の増益）となりました。

機械工具事業は、国内と東南アジアが堅調だったため、売上高は47億79百万円（同2.6%の増収）となりました。利益面では、売上げの増加によって、セグメント利益は7億7百万円（同14.4%の増益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、欧米での売上げが好調だったため、売上高は21億10百万円（同2.7%の増収）となりました。利益面では、経費の増加と製品構成の影響によって、セグメント利益は1億98百万円（同36.6%の減益）となりました。

建築機器事業は、東南アジアの売上げが好調だったため、売上高は11億43百万円（同4.6%の増収）となりました。利益面では原材料と経費の増加によって、セグメント利益は1億41百万円（同16.4%の減益）となりました。

海外売上高は、45億23百万円（前第2四半期連結累計期間比5.2%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は31.0%となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、617億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して34百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は436億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して41百万円の増加となりました。これは主に有価証券の増加7億円、原材料及び貯蔵品の増加61百万円、現金及び預金の減少7億34百万円等によるものであります。

固定資産は、181億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の減少1億46百万円及び無形固定資産の増加1億7百万円等によるものであります。

負債の部では流動負債は、39億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億52百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少7億68百万円及び役員賞与引当金の減少10百万円等によるものであります。

固定負債は、40億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億11百万円の減少となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少1億30百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、21億31百万円でしたが、配当金の支払い8億71百万円があったため、利益剰余金は、12億60百万円の増加で500億65百万円となりました。また為替換算調整勘定が3億77百万円の減少及びその他有価証券評価差額金50百万円の増加等があったため純資産の部は、537億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億30百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測につきましては、平成30年5月10日の「平成30年3月期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,904	25,170
受取手形及び売掛金	7,310	7,505
有価証券	4,699	5,399
商品及び製品	3,227	3,080
仕掛品	276	269
原材料及び貯蔵品	1,844	1,906
その他	341	315
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	43,602	43,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,053	11,101
減価償却累計額	△5,318	△5,469
建物及び構築物(純額)	5,734	5,632
機械装置及び運搬具	3,698	3,778
減価償却累計額	△2,569	△2,643
機械装置及び運搬具(純額)	1,128	1,134
工具、器具及び備品	6,791	6,811
減価償却累計額	△6,191	△6,228
工具、器具及び備品(純額)	599	582
土地	3,684	3,680
リース資産	1,716	1,778
減価償却累計額	△583	△650
リース資産(純額)	1,133	1,127
建設仮勘定	210	187
有形固定資産合計	12,492	12,345
無形固定資産		
その他	485	593
無形固定資産合計	485	593
投資その他の資産		
投資有価証券	3,540	3,625
長期貸付金	60	54
繰延税金資産	1,168	1,130
その他	488	410
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	5,241	5,204
固定資産合計	18,218	18,143
資産合計	61,821	61,786

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751	828
リース債務	205	201
未払法人税等	1,651	882
賞与引当金	629	639
役員賞与引当金	20	9
その他	1,550	1,393
流動負債合計	4,807	3,954
固定負債		
リース債務	923	922
退職給付に係る負債	2,545	2,569
役員退職慰労引当金	383	252
資産除去債務	11	11
その他	341	338
固定負債合計	4,205	4,094
負債合計	9,013	8,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	48,805	50,065
自己株式	△918	△918
株主資本合計	51,661	52,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,138	1,188
為替換算調整勘定	23	△353
退職給付に係る調整累計額	△23	△26
その他の包括利益累計額合計	1,139	809
非支配株主持分	7	6
純資産合計	52,807	53,737
負債純資産合計	61,821	61,786

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	13,885	14,567
売上原価	6,683	7,011
売上総利益	7,201	7,555
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,171	1,176
賞与引当金繰入額	341	355
退職給付費用	83	75
役員退職慰労引当金繰入額	18	18
販売促進費	425	477
研究開発費	386	452
その他	2,039	2,091
販売費及び一般管理費合計	4,465	4,647
営業利益	2,736	2,908
営業外収益		
受取利息	14	19
受取配当金	30	35
為替差益	10	34
受取家賃	16	16
その他	24	36
営業外収益合計	96	141
営業外費用		
売上割引	50	52
その他	3	16
営業外費用合計	53	68
経常利益	2,778	2,980
特別利益		
固定資産売却益	98	-
特別利益合計	98	-
特別損失		
固定資産売却損	57	-
特別損失合計	57	-
税金等調整前四半期純利益	2,819	2,980
法人税等	871	848
四半期純利益	1,947	2,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,947	2,131

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	1,947	2,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222	50
為替換算調整勘定	△26	△377
退職給付に係る調整額	8	△2
その他の包括利益合計	205	△330
四半期包括利益	2,152	1,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,152	1,801
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,819	2,980
減価償却費	533	587
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36	19
受取利息及び受取配当金	△44	△54
売上債権の増減額(△は増加)	△324	△224
たな卸資産の増減額(△は増加)	△275	19
仕入債務の増減額(△は減少)	431	79
未払消費税等の増減額(△は減少)	△169	86
その他	59	△400
小計	3,065	3,094
利息及び配当金の受取額	48	65
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△464	△1,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,649	1,581
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,481	△12,840
定期預金の払戻による収入	15,762	14,267
投資有価証券の取得による支出	△1,010	△12
有価証券の取得による支出	△1,600	△2,000
有価証券の償還による収入	801	1,299
有形固定資産の取得による支出	△488	△486
有形固定資産の売却による収入	247	0
無形固定資産の取得による支出	△178	△75
その他	△22	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,970	225
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△552	△870
その他	△99	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△652	△973
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1	739
現金及び現金同等物の期首残高	15,286	14,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,285	15,629

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	6,078	4,658	2,054	1,093	13,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,078	4,658	2,054	1,093	13,885
セグメント利益	1,635	618	313	169	2,736

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
外部顧客への売上高	6,533	4,779	2,110	1,143	14,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,533	4,779	2,110	1,143	14,567
セグメント利益	1,860	707	198	141	2,908

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。